

学校教育  
目 標

**確かな学力と豊かな心を育み、たくましく生きる子どもの育成**  
～一人ひとりが認められ、大切にされる大滝小～

# 大滝小学校だより

校長 大橋 太

平成30年3月30日

第19号

合言葉

やりきる

やりぬく

やりとげる

## 14名の卒業生が飛び立ちました。



「卒業式の6年生はとてもすごかったです。」 「6年生のことはわすれません。」

「6年生のはっぴょうがうまかったので、ぼくもああいうふうになりたいです。」

「卒業式」が終わった後、こんな感想を持っていた在校生がいたことに、嬉しくなりました。確かに私たち教職員の目にも、6年生の最後の態度は堂々

としたもので、腹の底から声を出し、とても凛々しい姿に見えました。在校生や来賓の方々みんながその姿に感動されたような顔をしていました。最後の授業である卒業式で、6年生は見事に小学校生活を完結してくれました。

### 夢・希望に向かって 努力する人に

今年度の卒業式で卒業生に贈った式辞の一部を紹介します。

(省略)

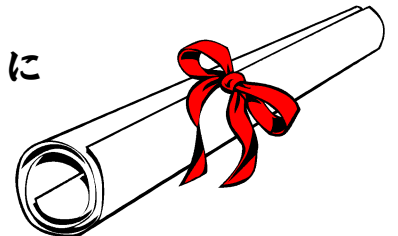
みなさんにお話することが最後となるこの場で、これまで何度も言ってきたことを、もう一度しっかりと伝えておきたいと思います。

ここに刻んでおいてください。

それは、「やりきる やりぬく やりとげる」、努力することの大切さです。  
極ごく当たり前のことです。

でも、人が生きていく上で大切なことは当たり前のことばかりです。この当たり前のことができるかどうか、確実に君たちの一生を決めることにつながります。

人が夢・希望を自分のものにするためには、どうしてもこの努力することが必要なのです。でもいつも言っていましたが、人間の心には、「やりぬこう」という強い心と「もうやめてしまおう」という弱い心が必ずあります。この二つの心が、苦しくなると、自分の中で必ず争います。皆さんには、「やりきる やりぬく やりとげる」という強い心を持ち、努力を積み重ねていく人



になってほしいと思います。皆さんの歌う「栄光の架け橋」の中にもあります。

「何度も何度もあきらめかけた夢の途中

いくつもの日々を越えて 辿り着いた今がある」

夢を、目標を自分のものにするために 栄光の架橋を渡るために、  
「やりきる やりぬく やりとげる」、努力する人でいてください。

そしていつか、このふるさとのためにみなさんの力を役立ててほしいと思います。みなさんは、ふるさと大滝の宝なのです。期待をしています。

それでは、卒業生のみなさん。

次に待つ未来への道に進み、夢に向かって大きく羽ばたかれる事を祈念し、私からの式辞といたします。

平成30年3月16日 多賀町立大滝小学校長

大橋 太

このたびの年度末教職員定期人事異動によりまして、大滝小学校を四名の者が転退職することになりました。在任中は保護者や地域の皆様のご協力のおかげで楽しい毎日を送ることができました。心よりお礼申し上げます。

素直で明るい子どもたちとお別れをするのはとても寂しく残念ですがそれぞれの任地や家庭で精一杯頑張っていきたいと思います。

本当にお世話になり、ありがとうございました。

転退職する職員



教 頭	勝間 治	(平田小学校へ)
講 師	柴谷 南美	(在 宅)
講 師	廣田 みゆき	(愛知川小学校へ)
調 理 員	尾本 温子	(退職)

## 三月 別れの時

卒業して小学校から巣立っていく14名、人事異動で他校へ転出する教職員、みんなが別れの寂しさを感じる3月です。離れがたい気持ちは誰も同じで、思い出が多ければ多いほどその気持ちを強く感じます。しかし、新たなステージで新しい出会いが待っています。これまでの出会いに感謝しつつも、これからの出会いを大切にしながら新たな一歩を踏み出して行きたいと思います。

明日から大滝小学校も新年度がスタートします。新メンバーが加わった教職員集団で、思いっきりかわいい子供達とともに頑張っていきたいと思いますので、今後ともご支援よろしく願いいたします。

